

第3期滋賀県教育振興基本計画の策定について (答申案 概要)

文教・警察常任委員会 資料1
平成30年(2018年)9月12日
教育委員会事務局教育総務課

1 性格・計画期間

《性格》

「滋賀県基本構想」を上位計画とする中期計画
本県における教育分野に関する施策を総合的かつ体系的に構築

《計画期間》 2019年度～2023年度(5年間)

滋賀の教育をめぐる現状

○ 社会情勢の変化等

人口減少社会、少子高齢社会の進行 急速な技術革新 グローバル化と情報化の進展 新学習指導要領等への対応
特別支援教育学校等児童生徒の増加 家庭の状況変化 教員の多様な能力・資質向上
学校における働き方改革 生涯学習の機運の高まり 学び続ける機会の充実

第2期計画の成果と課題

《主な成果》

授業研究・研修会の増加

自尊感情の高まり

《主な課題》

基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得

新しい時代を切り拓く人材の育成

体力の向上

自然環境への関心の高まり

体系的なキャリア教育

インクルーシブ教育システムの構築

福祉・医療との連携

特色ある教育活動等による学校づくり

県立学校の耐震化

外国人児童生徒等への学習支援

学校と地域との連携・協働づくり

コミュニティスクール等の導入

生涯学習の充実

地域資源を生かした学習

2 基本目標とサブテーマ

○ 基本目標

「未来を拓く心豊かでたくましい人づくり」

- 急速な社会情勢の変化の中で遭遇するこれまでに経験したことのない課題を、たくましさとその中に兼ね備える優しさを持ちながら解決し、未来を拓いていける人づくりを目指します。
- 学びの出発点である家庭教育から学校教育・社会教育を通じた生涯にわたる学びを意識しつつ、一人ひとりの個性を大切にしながら基本目標達成に向けた取組を推進します。

○ サブテーマ

「人生100年を見据えた「共に生きる」滋賀の教育」

- 人生100年をより豊かに生きるために、学びを通じて「人と人」、「人と地域」とのつながりを深め、人・地域と「共に生きる」ことを大切にします。

3 滋賀の教育で大切にしたい視点

「滋賀らしさ」を生かした学びを大切にします

- 「滋賀ならではの学び」「近江の心」といった「滋賀らしさ」を生かした学びを大切にします。

滋賀ならではの学び：

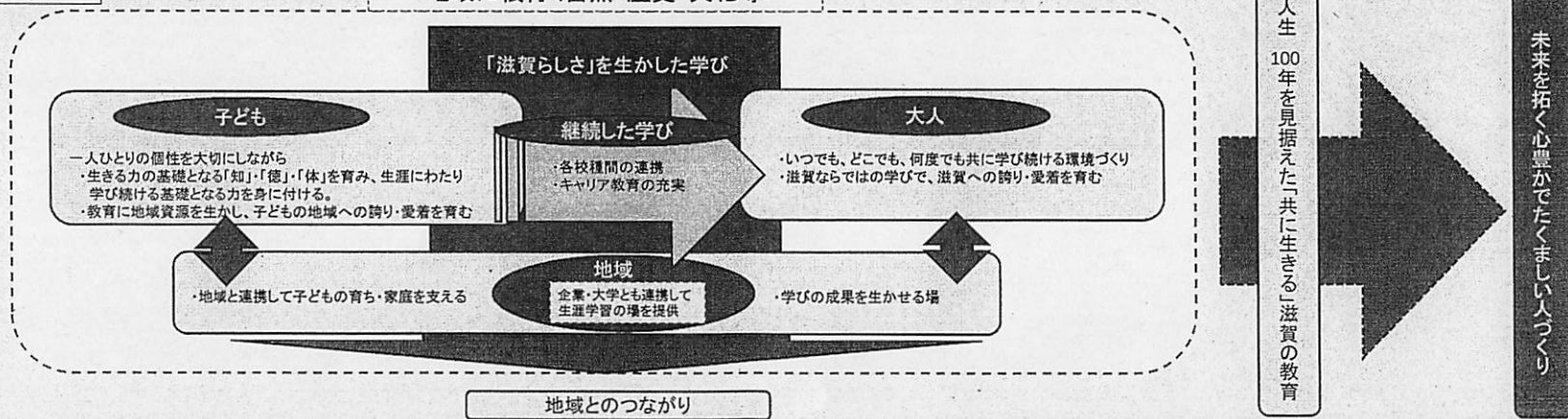
- 豊かな自然を生かした学び
- 多彩な歴史・文化を生かした学び
- 連携・協働を生かした学び

近江の心：

- 「良知の心」「一人ひとりを大切にする心」「異文化を理解する心」「三方よしの考えにある公の心」「環境を大切にする心」
- 上記のほか、地域で受け継がれ、大切にされている先人の心

4 共に生きる人生100年の学び

地域に根付く自然・歴史・文化等



5 今後5年間に実施する施策の方向性と主な取組

3つの柱を設け、施策の総合的な推進を図ります

- 基本目標の達成に向け、
 - ①学びの基礎を育む学校教育
 - ②子どもの育ちを社会全体で支え合う仕組みづくり
 - ③生涯学習の振興
- の3つの柱を設け、それぞれを相互に連携させて施策の総合的な推進を図ります。

【柱1】子ども一人ひとりの個性を大切に、生きる力を育む

- 確かな学力を育む
- 豊かな心を育む
- 健やかな体を育む
- 特別支援教育の推進
- 情報活用能力の育成
- 滋賀ならではの本物体験・感動体験の推進
- 多様な進路・就労の実現に向けた教育の推進
- 教職員の教育力を高める
- 幼児期の保育・教育の量的拡充
- 私学教育の振興

【柱2】社会全体で支え合い、子どもを育む

- 家庭や地域と学校との連携・協働活動の充実
- 子どもの安全・安心の確保
- 家庭の教育力の向上
- 家庭の経済状況への対応

【柱3】すべての人が学び続け、共に生きるための生涯学習を振興する

- すべての人が「共に生きる」活力ある地域を創生するための生涯学習の場の充実
- 柔軟で多様な生き方に対応した学び続ける機会の充実
- 滋賀ならではの学習の推進
- スポーツに取り組む機会づくり
- 読書活動の普及拡大と読書環境の整備

6 施策の推進方法

- 効果的な施策展開
- SDGsの視点による施策・事業の検討
- 「数値目標」による点検・評価と評価結果の反映
- ※ 点検評価にあたっては、外部委員の知見を活用し、評価結果は公表します。